

# 地理学習教材『ぼっ地理くん（USA編）』の作成と活用

— 複数の地図にある地理情報を関連させて考えられる生徒の育成を目指して —

情報教育・ICT活用班 鈴木篤喜（中学校教諭）

## 主題設定の理由

### 【生徒の実態】

- ▲読図の際に位置や距離関係を地図上でとらえることが苦手
- ▲地理的事象を自然及び社会的条件と関連付けて、考察することが苦手



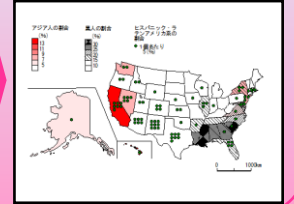
何か、うまい方法はないものかなあ？

### 【教師・授業の実態】

地図の指導→教科書・地図帳・印字した拡大地図の利用が多い

複数の地図を重ね合わせて透過させ、視覚的に一つになった地理情報を整理し、比較・関連させる学習教材を作ろう。

## 地理学習教材「ぼっ地理くん」の作成



## 教材の概要

### 【ぼっ地理くんの内容】

授業で使う典型的な地図・場面ごとの発問例・場面ごとのワークシート  
(地図の自作に必要なもの：GISソフト「MANDARA」・Excelデータ・取り扱い説明書)



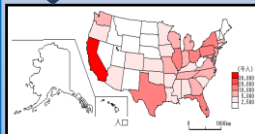
### 地図作成の例

『教師の意思を反映させた地図を自作できる!』

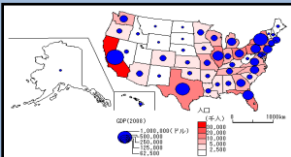


人口

GDP



人口とGDPを重ねた地図



思いの地図が簡単に!

複数の地図を透過できるところがすごい!

### 教材活用の例

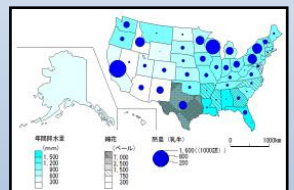
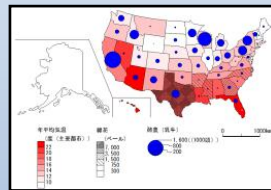
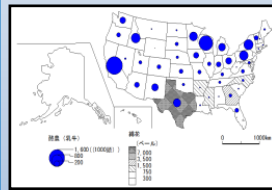
(単元名：北アメリカ州 全5時間)

目標：三つの地図から農業地域と気候の関係に気付かせ、適地適作を理解させる

地図①：「乳牛と綿花」

地図②：地図①+気温

地図③：地図①+降水量



### 発問例の一部

①上の2つの画像は綿花と酪農(乳牛)の生産地帯をある要素の地図と重ね合わせたものです。何だと思えますか。  
【予想される答え】  
○気温と降水量  
(補助発問：どうしてそう思った?その理由は?)  
○気候の数字から考えました  
(補助発問：では、綿花と酪農(乳牛)はどこで作られるの?)  
綿花→気温が高く、降水量が比較的多いところ  
乳牛→気温が低く、降水量が比較的多いところ  
☆衛星図などを使い、地元の年間降水量などを伝えと降水量のイメージが掴みやすい

### ワークシートの一部

☆アメリカ合衆国の農業は、どのような事と関係が深いのか、資料から読み取って考えよう。  
どの場所での農業が盛んか?【分布帯別の考察】  
綿花 → \_\_\_\_\_  
酪農(乳牛) → \_\_\_\_\_  
と重ねてみる  
アメリカの農業は( )と関係しているようだ。

3点セットで効果大

このような活動を継続することで「地図の読み取りにおいて、地理情報を比較でき、関連させて考えられる生徒」へ

## 授業での活用

### 《上の教材活用の例の授業で・・・》

【三つのポイント】

- ①瞬時に画像提示できるようにした(パワーポイント)
- ②展開のどの場面で画像提示し、考えさせるとより効果的なのかをよく考えた
- ③画面を見させる時間・考えさせる時間の確保と全体で考えをシェアする時間のバランスを考えた

気温が高く、降水量が比較的多いところで綿花の栽培が盛んなので農業地域と気候は関連があると思います。



考えたことを発表する活動

### 〈生徒の感想〉

質問をしながらどこを見れば良いのか指し示してくれたので、地図と地図の関係が分かりやすくなった。



一つの地図では分からなかったことが、関係を考えて何を意味しているのか分かることが多くなったのでよかった。

## 成果

- 発問しながら見るポイントを指し示したことで、生徒に着眼点を絞って考えさせるのに有効であった。また、ワークシートに記述させる活動は、考えを再構築するのに有効であった。
- 複数の地図を透過し1枚の地図で地理情報を読み取らせることで、地理情報の比較を意識し、それを関連させ考察することができた。

## 課題

- ▲授業構想の段階で地図画像の提示方法を考えておき、地図を重ね合わせるタイミングを工夫する必要がある。
- ▲地理情報が読み取れなかった生徒の支援と地図を透過しなくても読み取れる工夫を模索していきたい。